

いまむらぼし  
今村橋

## DATA・BOARD 45



- ① 愛知県瀬戸市川端町3丁目～效範町1丁目
- ② 延長76.7m, 幅員22m
- ③ 照明灯
- ④ コンクリート, 鉄筋, 鋼材, 陶器, 磁器, 磁器質タイル, アルミ合金

今村橋は、施工主体である愛知県と瀬戸市が協力して整備を行ったもので、橋を通行だけの機能にとどまらず、せともの瀬戸を印象づけ、周辺の丘陵の山並みのラインと協調させ、美しく親しみのある空間づくりを目標に整備を進めた。橋の施工にあたっては、地場産業である陶磁器を活用し、親柱に赤御影石と陶製オブジェ、高欄にはアルミ合金に瀬戸市の風景を描いた陶板をはめ込んでいる。歩道部分は磁器質タイル、バルコニー部分はモザイクタイルを使用、さらに夜間は陶製グローブ照明によって橋を浮かびたせるなどの工夫を行っている。

また、橋梁下は瀬戸川文化プロムナード構想の水辺空間整備地区として位置づけられており、市民の憩いの場となるように計画されている。